



～ 水の格差を無くすために ～

長野県上田染谷丘高校1年3組 氏名 藤極ねね

..この課題に関わるSDGsの番号



が安全な水とトイレを利用できるようにし、
たちでずっと管理していけるようにしよう。

…テーマ設定の理由

動画などでアフリカの子どもたちが水をくみに行くだけで一日を費やしているという生活を見たから。

すべての人が安全な水を利用できる世界になってほしいから。



・・現状

・汚染された水を飲んでしまっている人

➡ 約18億人

・トイレなどの基本的な衛生施設を利用できていない人

➡ 24億人以上

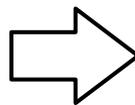
・不衛生な水が原因で死亡してしまう子供の数

➡ 年間約180万人



課題

管理された 水
道施設がない



菌などで汚染されている池や
川の水を飲んで飲まなければ
ならない



健康に多大な
影響がでる

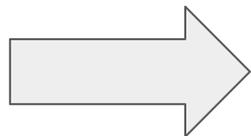


・・解決策

1. 水道の蛇口をこまめに止める



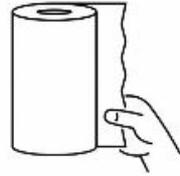
意識する
だけで



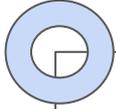
毎分11～13Lの水が排水口に吸い込まれていく。

1世帯で、年間 約
75,000Lもの 水が
節約できる。

2. 油を流しに流さないで拭き取る



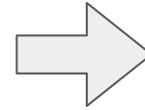
油のついた
フライパン
・食器



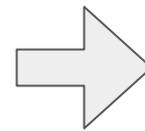
キッチンペーパーな
どで拭き取っておく



流しにそのまま
流す



かなりの水が節約で
きる。
水質汚染のさらなる
悪化を防げる。



使用する水の量が多
く、水質汚染などをさ
らに悪化させてしま
う。

3. 途上国の飲み水やトイレを作る活動に寄付する

様々な寄付活動に参加することで・



1錠で4~5Lの水を浄化できる浄水剤が購入できる

ORS(経口補水塩)、家庭用衛生キットを提供できる



~nepia 千のトイレプロジェクト~

王子ネピアが2008年に立ち上げたプロジェクト。私達が購入したネピア商品の売上の一部がユニセフに寄付され、発展途上国でのトイレづくりを支援していくというもの。



・・・10代からの提言

私達は、自分も含めて「なんとかなる」と思っている人が多いけど、今の自分達の行動が未来に繋がっているということ、未来で私達が幸せに暮らすためには、今の自分達の行動を変えなければいけないということ意識しなければいけません。

今、私達が水に困ることなく生活しているとき、世界では何十億人もの人々がコップ一杯ほどの水を求めています。今からでも小さいことから積み重ねていけば、未来は少しでもいい方向に進むと思います。



～感想～

今の水についての世界の現状を知り、
自分が思っていたよりも状況は深刻で、
今の自分の行動を見直さなければいけないと思った。

